

低騒音舗装

静かな道路を！

道路整備における環境対策として、平成14年度から幹線道路を中心に自動車騒音の抑制のために低騒音舗装を行っています。

低騒音舗装とは？

一般に自動車騒音といわれるものは、エンジン音に代表される機械系音とタイヤが路面を転動する際に生じるタイヤ／路面騒音の2つに大別されます。

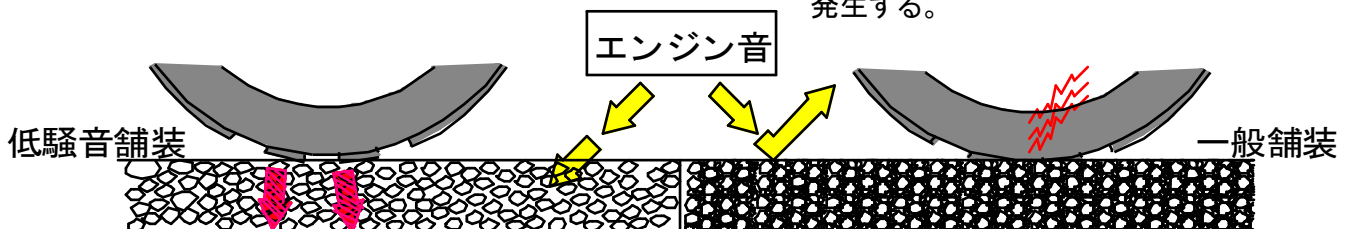
ではなぜ低騒音舗装により道路交通騒音が低減されるのでしょうか？

低騒音舗装は、通常のアスファルト舗装よりも路面の空隙率を多くしたもので、通常のアスファルト舗装が空隙率4%程度であるのに対して、排水性舗装では空隙率が20%前後と高く、この空隙に雨水はもちろん、下図のような自動車騒音も吸収され騒音が低減されるのです。

騒音の低減効果

空隙に空気が逃げ、タイヤ・エンジン騒音が3dB程度低減される。

タイヤ溝と舗装面の間に挟まれた空気の逃げ道がなく、空気圧縮音、膨張音が発生する。

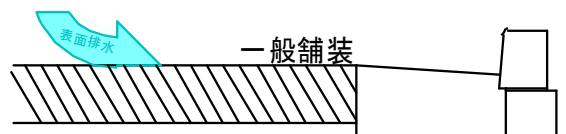


排水効果

雨水を舗装内に浸透させ排水施設にて処理



雨水を舗装表面で受け排水施設にて処理



水しぶきの発生が少なく前方が良く見える



前の車の水しぶきで前方が良く見えない



■特徴

- 水はね防止効果があります。
- 車両走行による道路交通騒音を低減します。
- ハイドロプレーニング現象を抑制します。
- 雨天時に走行中の車からの視認性が向上します。

排水性舗装が水しぶきの発生を抑制し視認性の向上に役立っていることが分かります。

ドライバーだけでなく歩道を通行する人にもやさしい舗装です。